

工事名:北部幹線防護管布設(第1工区)工事

質問	回答
<p>・添付書類の合算位置図について</p> <p>合算位置図とありますが、近接諸経費工事なのですか? 特記仕様書には、なにも明示してありません。教えてください。</p>	<p>合算位置図は、本工事を含む北部幹線に関する工事位置を示したものであります。特記仕様書のとおり、本工事は近接工事による間接工事費の調整は行っておりません。</p> <p>なお、近接工事を発注する場合の間接工事費については、令和3年3月12日付通知の「近接して工事を発注する場合の間接工事費の調整の廃止について(ご案内)」にて、令和3年4月1日以降に入札公告、指名通知等を行う近接工事(施工中の別工事と工事区域が概ね100m以内にあり、工期が重なる期間がある工事)については、原則間接工事費の調整を廃止しております。</p>
<p>・金抜き設計書について</p> <p>金抜き設計書に総括情報表が添付されていません。総括情報表の明示をお願いします。</p>	<p>総括情報表を追加しました。</p> <p>訂正後の特記仕様書は、電子入札システムに掲示(ZIPファイル名の最後がnewになっています。)してありますので、再度ダウンロードして確認してください。</p>
<p>・地元住民・町内会及び警察への工事内容・道路規制(道路通行止等)に関する、概略説明等は済んでいますか。</p>	<p>受注者決定までに自治振興会、町内会長、関係機関に対して工事概要の説明を行うこととしております。また、工事箇所沿線の住民へは、個別訪問による説明を行います。なお、町内会への説明については、受注者決定後に、町内会長を通じて工事案内文書を回覧することとしております。</p>
<p>・各施工段階において、道路規制はどのようなお考えですか。県道側(到達側)は、施工時通行止め夜間覆工板開放、市道(発進側)は、終日通行止めです。よろしいですか。県道富山立山魚津線の取付け部の擁壁は、終日通行止めです。よろしいでしょうか。規制に伴い、交通誘導員配置人数の変更があった場合は、実数量で変更清算とさせていただきますでしょうか。</p>	<p>到達立坑部は施工時通行止め・夜間覆工板開放、発進立坑部は終日片側交互通行、擁壁部は終日通行止めを想定しております。</p> <p>設計と現場条件に相違が発生した場合は受注者と協議します。</p>
<p>・事業損失防止費の事前事後調査(家屋調査)について、家屋2棟は、到達立坑両側の家屋だと思われませんが、家主への事前概略工事説明・家屋調査了承の交渉は、済んでいますか。</p>	<p>受注者決定までに、到達立坑側の家屋に対する工事概要説明・家屋調査の交渉を行います。</p>
<p>・発進立坑側のプラント設備の設置場所について、地主への工事概略説明・借地了承の交渉は済んでいますか。</p>	<p>地権者への工事概要説明及び借地交渉を行い、了承を得ております。</p>

<p>・両側立坑(発進・到達)施工箇所の上空に架空線があり、支障となると思われますが、どのようなお考えですか。</p>	<p>架空線直下を避ける位置に発進・到達立坑を築造する計画としているため、架空線は支障とならないと想定しております。</p>
<p>・地盤改良工について、施工範囲内に水道管φ800(工水)と下水道管V<sub>u</sub>φ200と水道DIPSφ75等の既設埋設管がありますが、試掘及び観測費用等は、どのようなお考えですか。</p>	<p>特記仕様書に記載のとおり、受注者による地下埋設物調査票の作成や関係機関と協議を行うこととしております。その結果より、試掘調査や地盤改良施工中の既設管観測の必要が生じた場合は、受注者と協議します。</p>
<p>・地盤改良工において、施工内訳表の二重ダブルパッカー工法(削孔)のグラウト材は、砂が良いかと思われませんが、どのようなお考えですか。</p>	<p>本工事箇所は硬質な地盤であるため、二重管ストレーナ工法による薬液注入の事前準備としてロータリーパーカッションドリルによる削孔を行うこととしております。削孔後の孔壁保護としてセメント系グラウト材を計上しておりますが、孔内を砂で充填することで孔壁崩壊の防止が可能であると判断できる場合は、受注者と協議します。</p>
<p>・県道富山立山魚津線の、L型擁壁取付け施工部にガス管φ150(中圧管)が埋設されていますが、移設等どのようなお考えですか。</p>	<p>ガス管理者との事前協議ではガス管の移設は困難であり、掘削時にガス管が露出する場合は吊り防護等の養生をすることで対応可能との回答を受けております。</p>
<p>・L型擁壁について、施工方法及び施工ヤードは、どのようなお考えですか。</p>	<p>クレーン機能付きバックホウでL型擁壁を南側から順に設置することを想定しております。L型擁壁設置中は主要地方道富山環状線を終日通行止めとするため、施工ヤードはその規制内を想定しております。</p>